

増えている 大腸がん

～だけど、早期発見・早期治療できる病気です～

口和支所地域振興室 専門員

元永 貴美江



大腸がんの発生

大腸がんは粘膜(腸管の最も内側にあり、消化物と接触する部分)から発生します。要因として、食生活(肉類や脂肪の摂取が多い、食物繊維の多い野菜などが不足)や、飲酒・喫煙・大腸がんの家族歴などが挙げられます。大腸がんにかかる人は、この30年で約6倍に増えていきます。

早く見つければ、 治る確率が高い

大腸がんは見つけるのが早ければ早いほど、治る確率が高くなります。特に早期のがんでは、治療後の生存率が90%以上だといわれています。ですが、早期の大腸がんには自覚症状がほとんどありません。

だから受けよう検診!

大腸がんは診断された人の約4割は検診で指摘されるなど、診断時に自覚症状がなかった、という調査結果があ

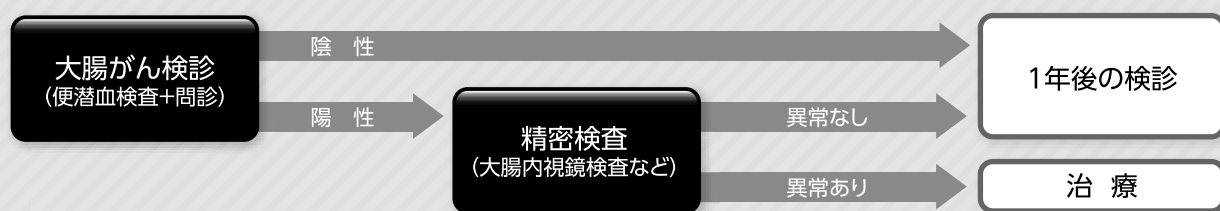
ります。(厚生労働省『平成26年受療行動調査の概況』より)大腸がんにかかる人は40歳から増え始めます。40歳以上の人は、1年に1回は検診を受けましょう。

検診での検査方法は

「便潜血検査(検便)」と

「問診」

便潜血検査は便に含まれる血液を探り、血液が混ざっているかを調べる検査です。簡単な検査ですが、「定期的に検査を受けることで、大腸がんで亡くなるリスクが60～80%減らせる」という調査報告が厚生労働省から出ています。



「どこも悪くないから、自分には関係ない」と考えるのではなく、
「どこも悪くないけど、がんが隠れているかもしれない」という意識をもつことが大切です。

こんな症状があったら 医療機関へ

日頃から腹部や肛門・便の状態に気を配っておけば、変化に気づきやすくなります。もし、何か症状を感じた場合は、早めに受診しましょう。

- ☐ 便に血が混ざる (血便)
- ☐ 肛門から血が出る (肛門出血)
- ☐ 下痢と便秘を繰り返す
- ☐ 便が細くなる
- ☐ 便が残る感じがする
- ☐ 腹部の張り・腹痛
- ☐ 貧血
- ☐ 体重減少

「健康標語」入選作品

(健康標語は高血圧予防と糖尿病予防のための標語です)

優秀賞

「朝ごはん

しっかり食べて

元気よく」

小田切 柚寿

